



色づいた木々の葉も少しずつ舞って
冬を迎える仕度をしています。
今月に入り、コロナウィルス感染者が
全国的に増えています。消毒、マスク、咳
エチケットなど感染拡大防止に努めま
しょう。



<お迎えの時>
1日熱も上がらず元気に過ごせたけれど
お昼寝の時、咳で起きてしまうようなので、
明日もう1日利用してもいいですか？

同じ医師連絡票で連続7日間まで利用するこ
ができます。お気軽にご相談ください。
(感染症が流行る時期などはお部屋が空いて
いないこともあります。)



冬は例年ノロウィルスや感染性胃腸炎が流行しやすい時期です。
感染すると悪寒、嘔吐、腹痛、発熱などの症状が見られます。
回復してもその後、1週間から1か月、排泄物とともにウィルスが体外に出
るといわれていますので、発症から1か月ほどは排泄物を処理する際に十
分気を付けましょう。

自分で体調を伝えることができない小さいお子さんは、周りの
大人がいつもと違う様子に気付いてあげる必要があります。



新潟市の病児・病後児
保育のHPはこちらです。



病後児保育室 こもれび

〒950-3322

新潟市北区嘉山533番地

TEL025-385-6101

<http://kotorinomori.org>



こもれび通信は、新潟市病児・病後児保育事業の一環として受託
事業者が行う、感染症流行状況や予防策などの情報提供です。

回復期ってどんな状態??

パンフレットにある集団保育が困難な場合とは、
どのような状態ですか？



- お薬を飲んでいる
- 咳や鼻水が多く出る
- お昼寝や夜、いつものように眠れない、起きてしまう
- 食欲がない、いつものように食べられない
- いつもより熱が高い(38.5℃以下)
- 外遊びやプール遊びを休ませたい
- 熱はないけれど元気がない、口数が少ない など

「このくらい大丈夫かな」「いつものこと」と思わず、いつも
の元気な状態を知っているお家の方が、しっかりと健康観察
をしましょう。
咳やくしゃみ、鼻水は他のお子さんに感染症をうつす危険性
があります。お互いに「うつさない」を心掛けましょう。



風邪をひくと、くしゃみや咳、鼻水、痰がでたり熱が上がったり
します。これらはウィルスを体外に出そうとする体の防御反応で、
1回くしゃみをすると10万個近い飛沫が飛び散るといいます。飛
沫とは唾液や鼻水が小さな水滴となって飛び散ることで、ウィルス
も一緒に飛び散るため、感染ルートのひとつが飛沫感染です。風
邪の症状のある場合、マスクや咳エチケットの難しい小さな
お子さんは、園での集団保育ではなく、病児・病後児保育
施設の利用も考えてみてはいかがでしょうか。



事前登録が必要です！

母子健康手帳・健康保険証・新潟市こども医療費
助成受給者証をお持ちください。
1度の登録で小学校6年生まで有効です。
入室前にお電話ください



こもれび利用状況(10月)	予約	感冒
	1名	1名